

(様式第4号)

上田市博物館協議会 会議概要

1 審議会名	上田市博物館協議会
2 日時	令和5年3月20日 午後1時30分から午後2時30分まで
3 会場	信濃国分寺資料館講堂
4 出席者	小宮山会長代理、矢嶋委員、鎌田委員、神戸委員、若林委員、寺島委員
5 市側出席者	坂部市立博物館長、小山信濃国分寺資料館長、川上庶務学芸係長、 斉藤主任
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和5年3月20日

協 議 事 項 等

1 開 会 (坂部館長)	<ul style="list-style-type: none">・開会に先立ち、昨年4月の人事異動後、対面での協議会が今回初となるため、坂部市立博物館長及び小山信濃国分寺資料館長からあいさつ・開会のことば
2 あいさつ (小宮山会長代理)	<ul style="list-style-type: none">・児玉会長が不在のため、代理として行う。・コロナ禍ではあるが、博物館活動について、工夫をしながら行ってほしい。・委員の皆様のご意見を伺いながら、有意義な協議会としたいため、ご協力をお願いしたい。
3 協議事項	<p>(1) 令和4年度事業報告について (資料1)</p> <ul style="list-style-type: none">・資料1-1 (別添1.2.3) に沿い、斉藤主任から市立博物館事業報告について概要を説明・資料1-2 (別添1) に沿い、小山館長から信濃国分寺資料館事業報告について概要を説明 <p>・以降、協議</p> <p>(委 員) 少しずつ観光客が増えているように思うが、博物館への影響はどうか。</p> <p>(事務局) コロナ禍前の令和元年度と比較して、令和4年度の博物館の入館者も元年度の7.5割ほどに回復している。</p> <p>(委 員) 寄贈等の資料について、どのような手順で博物館に寄贈、収蔵されるのか。</p> <p>(事務局) 博物館に寄贈の申し出があった場合に、博物館の収蔵にふさわしい資料かを館内で調査・判断し、収蔵に値する資料を寄贈していただいている。</p> <ul style="list-style-type: none">・購入する資料については、所有者からの申し出があった場合は、審査をして歴史的に価値のある資料を購入している。今年度購入した資料は、古書目録を参考に、武家の古文書として今後博物館での展示や調査に活用できるものとして購入した。 <p>(委 員) 企画展の際、図録やリーフレットがあり、展示内容もより理解しやすかった。</p> <p>(委 員) 企画展で、普段展示されていない資料が丁寧な説明とともに展示されており、広く市民等に知っていただく機会があり良かった。</p> <p>(委 員) 企画展でのキャプションが、斬新で面白く、とても良かった。</p> <p>(委 員) 博物館の照明について、建物全体的にも展示場も暗いと感じるので、もう少し明るくならないのか。</p> <p>(事務局) 博物館には、収蔵資料の展示・公開義務がある。展示にあたっては、蛍光灯などの紫外線による資料の劣化を防ぐよう考慮する必要があり、資料保存の立場と相反するものがある。市立博物館は、築60年ほど経過しており、温度・湿度・照度の管理が難しい現状。</p>

(委員) 今まで、市立博物館では真田氏関係の資料を収集してきたと思われるが、今後は、どのような資料を収集するのか、方針は決めているか。

(事務局) 市立博物館は、真田氏、仙石氏、松平氏関係の資料が多いが、総合博物館として、その他の分野の資料も収集していきたいと考える。

(委員) ・収蔵庫が狭いため、資料収集が難しいのではと感じるが、いかがか。

・また、先に収蔵された資料と同じような分野の資料を収集する場合、どのような対応をしているか。

(事務局) ・狭い収蔵庫ではあるが、先に収蔵した資料とともに新しく収蔵する資料も大切に保管している。そのため、保管場所に限りがあり、現在では市民から古い民具の寄贈等の申し出があった場合でも基本お断りせざるを得ない状況。

・今後の新しい博物館には、大きな収蔵庫を備える等の要求はしていきたい。

(委員) 現在、収蔵庫の保管スペースは厳しいようだが、今後良い資料が出てきた場合、受け入れは可能か。

(事務局) 博物館に必要な資料は、今後も受け入れたい。基本的には、価値のある貴重な古文書を中心に受け入れていく。

(2) 令和5年度事業計画について(資料2)

・資料2-1(別添4)に沿い、斉藤主任から市立博物館事業計画について概要を説明

・資料2-2に沿い、小山館長から信濃国分寺資料館事業計画について概要を説明

・以降、協議

(委員) 企画展の開催にあたり、どのような周知をしているか。

(事務局) 上田市の広報、HP、SNSでの情報発信の他、各新聞社へのプレスリリースを行い、何度か新聞にも掲載された。

(委員) 今後、事業計画の資料中にも周知方法を記載した方が良い。

(委員) 市立博物館の冬季企画展は「温泉」がテーマとなっているが、時代は、どの時代のものを取り上げるのか。

(事務局) 資料の残存状況により今後決定したいが、現段階の調査では、鹿教湯温泉や別所温泉は、市誌など資料が残っているが、他は資料が少ないため、展示内容は近現代が中心になる。

(委員) ・「温泉」をテーマとしたことは、今までの博物館の企画展とは違った視点からの企画で、興味深く、楽しみにしている。

・また、温泉は観光との結びつきも強く、今後の上田市の観光にも良い影響を与えると良いと思う。

(3) その他報告事項(資料3)

・資料3に沿い、川上係長から次の項目について概要を説明

1 市立博物館及び信濃国分寺資料館の開館時間について

2 令和4年度古文書整理作業について

3 令和4年度能衣装上田縞保存修理委託事業について

・以降、協議

(委員) 能衣装の修復委託事業について、事業費はどのくらいか。

(事務局) 令和4年度委託事業費は、約497万円で、うち200万円が住友財団からの助成金。

(委員) 能衣装の修復とは、具体的にどのような修復になるのか。

(事務局) ・市指定文化財の上田縞であるが、経年劣化により身頃が脆くなり、展示・公開ができない

い状況だったため、専門家による修復をするもの。

- 昨年、京都の補修作業現場へ出向き、実物をみながら打合せをした。補修手順としては、能衣装を全解体し、裏打ち紙を和紙で新調、表地は蚕から紡いだ絹糸を染色し、補修裂をあて、縫って補修する。
- 修復後の展示は、衣桁に掛けての展示ではなく、広い板の上に置く方法になる。

4 閉 会（坂部館長）

- 事務連絡：次期上田市博物館協議委員の就任依頼及び就任承諾書の提出依頼
- 閉会のことば